

Press Release

2022 年 1 月 19 日

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

英語スピーチ/プレゼンテーション研究室が 6 年度連続 で全国大会上位入賞。福澤杯で準優勝も果たしました。

武庫川女子大学英語文化学科の英語スピーチ/プレゼンテーション研究室が 6 年度連続で全国大会上位入賞を続けています。今年度は日本三大大会の一角、福澤杯争奪全日本学生英語弁論大会で準優勝を果たし、全国トップレベルの実力を証明しました。

第 9 回エリザベス・ラッセル杯（活水女子大学）準優勝、第 45 回福澤杯（慶應義塾大学）準優勝、第 6 回秋 KESSA 杯（関西 ESS 連盟）3 位、第 54 回谷本杯（関西外国語大学）準優勝、第 15 回森田杯・英文毎日杯（京都外国語大学）優勝——。2021 年度 10 月以降、英語スピーチや英語プレゼンテーションの全国大会で、本学の学生が成し遂げた快挙の数々です。（別紙受賞歴参照）

快挙を遂げた学生の多くは、英語文化学科長である清水利宏教授（英語学）のゼミ「英語スピーチ・プレゼンテーション研究室」に所属しています。同研究室の指導学生が最初に頭角を現したのは、2016 年度の香港杯全日本大学学生大使英語プログラム（香港特別行政区政府）。当時の 4 年生が準優勝しました。翌 2017 年度は同大会の全国ファイナルに本学の 3 人がそろって進み、本田諭美さん（当時 3 年）が優勝。本田さんは同じ年、青嵐杯（北九州市立大学）でも 3 位に入り、清水研究室の指導力に注目が集まりました。※香港杯は 2018 年度の 3 位入賞を最後にコンテスト自体が中止。

2018 年度には当時の 4 年生ペアが森田杯・英文毎日杯（京都外国語大学）で準優勝。2019 年度には当時の 3 年生が青嵐杯（北九州市立大学）優勝とみどり杯（龍谷大学）準優勝を果たしたほか、2020 年度も当時の 3 年生が上智大学短期大学部学長杯（上智大学）で 3 位に入賞し、層の厚さと実力が知れ渡りました。そして 2021 年度、日本三

大大会の一角である福澤杯(慶應義塾大学)で香川友里絵さん(3年)が準優勝まで上り詰めました。

学生の英語スピーチコンテストでは慶應義塾大学が主催する福澤杯と、早稲田大学の大隈杯、獨協大学の天野杯が日本三大大会と称され、レベルの高さで知られます。清水ゼミではこうした全国大会の上位をめざし、話す内容から発音、身振りまで、徹底的に鍛え上げます。学生は授業後の大教室や中庭で練習を重ね、互いに切磋琢磨しながら完成度を高めます。

「上位に食い込むには英語力だけでなく、何を話すか、どう話すかが重要。会場を巻き込む強いスピーチ、魅力あるプレゼンテーションがカギになります」と清水教授。自身もスピーチの達人で、数々のスピーチコンテストで審査員を務めています。小中高校生を対象に英語スピーチ活動の普及にも力を注ぎ、2020年度からは、高大連携教育プロジェクトとして全国を巡回し、英語スピーチの特別セミナーを開催する長期プロジェクト「Global Speakers Seminar 2020-2030」に取り組んでいます。

12月には、ゼミの現3、4年生と来年度から所属予定の2年生が一堂に会し、カップや賞状を手にした受賞者たちが、「受賞できたのはゼミの支えのおかげ。高い目標に挑戦し、いい思い出をつくってほしい」と、後輩たちを激励しました。

この件に関する問い合わせは
広報室 Tel 0798-45-3533
メール kohos@mukogawa-u.ac.jp
へお願いします

2年～4年生が勢揃いした清水ゼミの様子





ゼミ生を指導する清水教授



第 45 回福澤杯で準優勝した香川友里絵さん



第 15 回 森田杯・英文毎日杯で優勝した豊田姫菜さん・嶋田愛さん



第 6 回 秋 KESSA 杯争奪 学生英語弁論大会で 3 位の 3 年五條千春さん



第 54 回 谷本杯争奪 全日本学生英語弁論大会で準優勝の 4 年嶋田愛さん